

## 水と人間

蛇口をひねると必ず綺麗な水が出てくる。当たり前過ぎて忘れてしまいがちだけれど、水はとても貴重です。そして、人間にとって水は欠かせません。

朝、起きてから、夜、寝るまでの間に水は私の生活をいろんな場面で助けてくれます。その水が不足するとどのような生活になってしまうのか、人間はどのような生活になってしまうのか、ある日の出来事を体験するまで考えたこともありませんでした。

私が小学校の時、お風呂に入りシャワーを出すといつも出てくる綺麗で透明の水ではありませんでした。シャワーから出てくる水は濁っていて、洗面器に水を溜めると茶色くてビツクリしました。初めての体験で、今、何が起きているのかと、不安になりました。数時間が過ぎ、近所で水道管が破裂したことを

青翔中学校 二年

吉井 ほのか

知りました。蛇口をひねれば出てくる水が使えない。どうすればいいのかわかりませんでした。手が洗えない。歯みがきができない。ご飯が作れない。ただ、ただ、水道の水が使えない。普通にならないうまで待つしかできません。翌日、昨夜の状況とは変わってはいませんが、普通に学校へ行き、朝一番に知った情報「水道管が破裂したため、給食センターで給食が作れず、今日の給食はパンと牛乳だけに なります。」

と、先生が話したのです。こんな所にまで影響が出るんだと、水がどれほど私達の生活に欠かせない貴重な存在なのかということに気づいたと同時に、初めて震災の備えとして水が必要だと言われている意味がわかりました。この体験ができたことで、水に対してい

ろいろ考えるきっかけになり、テレビや新聞で水に関する記事を読むようになりました。人間の体のほとんどは水でできていると知った時にとても驚きました。私達くらいの子どもは、約70パーセント、大人では、約60〜65パーセントを水が占めているのです。体内の水分量が不足すると脱水症状をおこし、体温調節ができなくなったり、老廃物が溜ったりし、全身の機能が低下し、水がなくなると五日も生きてはいけません。水が使えなくなるといことは、私達の生活を狂わせてしまうだけでなく、人間の命にまでも影響を及ぼします。

世界には深刻な水不足に苦しむ人々がたくさんいるとよく聞きます。日本では、夏になると降水量が減り水不足と言われることもあります。川にゴミを捨てたり、生活排水により水質汚濁になったりと、人間にとって欠かせない物を人間が汚してしまっているという状況にあります。水を汚さないために、一人一人ができることは少ないかもしれないけれど、一人一人が、水源をきれいに保つために、日々の心がけをするだけで変わってくると思い

ます。まず、私ができることは、水の無駄使いをしないことだと思います。食器の油污れは紙でふきとったり、シャワーや歯みがきの際、水を流しっぱなしにしない。河川にはゴミを捨てないなど、貴重な水を大切にしたいと思うます。